

# Forest 通信 H29 1

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO.335

# 初春

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
本年も高尾山の豊かな森を活用して、多くの皆様に森林や林業に対する理解を深め森林と親しんでいただくため、いろいろなイベントを協定団体及びボランティア団体等の支援を受けながら行って参りますので、よろしくをお願いします。

平成29年 元旦

高尾森林ふれあい推進センター所長 屋代 忠幸

巻頭 photo

## 高尾山の生きものたち

### カワラヒワ (アトリ科)

カワラヒワは飛んだ時にその体色から「黄色い塊」に見え、過去その飛翔を狙いましたが、うまくいきませんでした。今回は止り木を見つけ着木寸前を狙って、ご覧のようなシーンが撮れました。

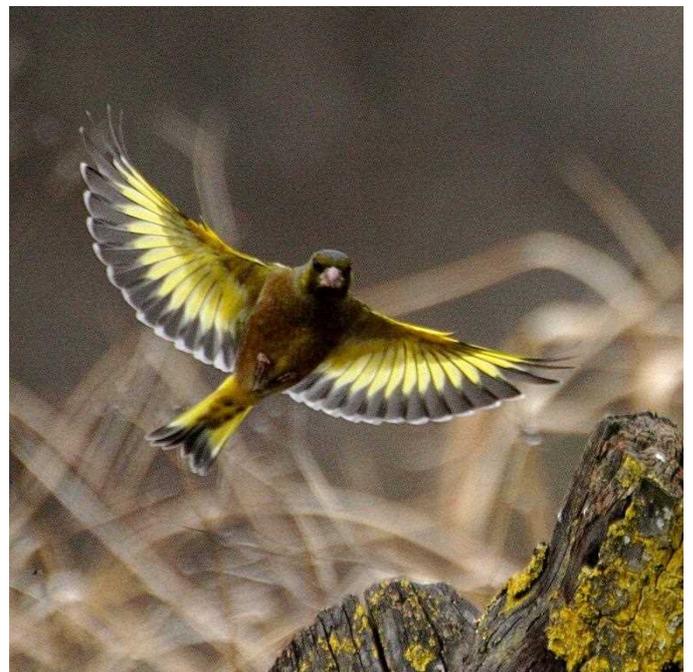
全長13.5cmのこの鳥は「キリコロロ キリコロコロ」と飛びながら鳴く他、美しい声でさえずります。

読者諸賢がこの1年も羽ばたいていただければと祈念しております。

今月の一句

「羽ばたいて 羽ばたきぬくぞ 一年間」

(フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎)



## 特別企画 リース作り体験教室

12月5日(月)～12月9日(金)の5日間「リース作り体験教室」を開催し、期間中は約49名の方が体験しました。

インタープリターから作り方の指導を受けながら、ツルやマツカサを針金で輪にした台をベースにして、デザインをあれこれと考えながら、飾りのドングリや葉っぱを選び、ワクワクいっぱい楽しそうな表情で「子供の頃を思い出した!」「素敵なリースができた☆」とそれぞれがリース作りを楽しんでいた様子でした。

なおクラフト室では、599ミュージアムの開館以降、体験者が激増した結果、材料の確保に苦労しております。材料となるドングリや木の実などを手元にお持ちの方には、材料のご提供をお願いしております。(皿)

### ★クリスマスが楽しみ★



### 個性光るリースたち



## 森林教室

### 横浜市立谷本小学校

12月13日(火)に、横浜市立谷本(やもと)小学校の校庭で、炭焼き体験用の竹割り作業を行いました。

谷本小学校では、毎年6年生が5月頃に高尾森林ふれあい推進センターで炭焼き体験を実施しています。そのため、前年度(5年生の時)に竹割り作業を行って準備をしています。幸いなことに学校林を所有しているため、炭焼き用の竹の調達が学校林で出来るというわけです。

はじめに炭についての講義を行った後、学校林から切り出した竹を均等な長さにそろえて切ります。次に竹割り器具を使用して割っていき、節をカナヅチで取り除き、最後に束ねます。この一連の作業を子どもたちが行います。当然のことながら多少の危険も伴うため、職員の指導の下で行いますが、子どもたちの自主性も尊重して暖かく見守ることに心がけました。

最初は慣れない手つきで「おっかなびっくり」な子どもたちも、終盤にさしかかる頃には慣れた手つきで竹を処理することが出来るようになりました。

お別れする頃には「6年生になったら炭焼きするんだ!」と来年春の炭焼き体験に早くも心を馳せている様子でした。(磯)





## ～子どもたちの笑顔と共に～

特定非営利活動法人森とでんえん倶楽部

NPO法人 森とでんえん倶楽部は高尾森林ふれあい推進センターのご協力を得て、平成 28 年度の協定イベントとして、子ども向けのイベント「魚取りと植物観察」、「草木染めと植物観察」、「ハイキングと植物観察」を行いました。

### 魚取りと植物観察

魚取りと植物観察は山の日（8月11日）の直後、8月13日と14日に行いました。夏休み中に行うこのイベントには毎年大勢の参加希望者があり、一昨年より2日間行っています。今年は両日で101名の参加がありました。日影沢キャンプ場に隣接する八王子市が管理する川に鱒を放して、子ども達に手づかみしてもらい、焼いて食べる催しです。中には魚を「殺さないで！」と泣き出す子もいました。それでも、自分で取って焼いた魚は美味しいとにっこりしていました。スイカ割り、植物観察、草笛、クラフトの相撲大会なども合わせて行いました。

### 草木染めと植物観察

草木染めと植物観察は 9 月 25 日に行いました。草木染めの染料として以前はクヌギの殻斗（笠）を使用していましたが、近年は玉ねぎの皮を使いバンダナを染めています。染め上がりを想定しながらピー玉、三角や四角の木片を使って準備しますが、どんな染め模様になるか出来上がるまで楽しみです。皆さん予想以上に上手く染まり大満足でした。植物観察、丸太切、火お越し体験、焼き芋も行いました。

### ハイキングと植物観察

ハイキングと植物観察は10月30日に行いました。ハイキングコースは高尾駅から日影沢キャンプ場までのコースを選びました。この間はほとんどが遊歩道になっています。しかし途中でバス通りを歩くところがあるので、子ども達の安全を考えて摺差（するさし）駅から日影駅までの2駅だけバスに乗車しました。

植物観察はその季節に咲く花や、特徴のある草木の観察を行います。特に秋は引付き虫の観察グッズを用意しています。火起こしは中々火が付かず毎回苦労をしています。しかし、一人でも火が付けば皆さんに拍手して貰えます。中には昨年挑戦して上手く出来なかったのが、今年はと参加する子もいます。草笛/ドングリ笛、竹とんぼ飛ばしも行いました。

（写真・文：森とでんえん倶楽部 横山信明氏）



## 平成29年度 イベント実施団体の募集予告

国民の森林「国有林」では、地方公共団体や教育機関等の要請やニーズを踏まえ、森林・林業に対する理解が深められるよう、森林教室等のフィールド提供、指導者の紹介や情報提供等を行っています。

平成29年度の森林ふれあい推進事業のイベント実施に当たり、関東森林管理局長と協定を締結し、高尾森林ふれあい推進センターのイベントを実施していただく団体等を公募します。募集期間は、平成29年1月下旬以降から平成29年2月中旬頃の予定です。

### 具体的な実施内容

#### 1 協定イベント実施団体の選定

営利を目的としない法人または団体（以下「団体」という）を公示により募集し、森林ふれあい推進事業の趣旨に沿って創意工夫により、イベントを計画実施できる団体

#### 2 応募団体資格（以下の条件を全て満たす団体）

- (1) 従来から森林を利用した活動等を実施し、森林とのふれあいを促進させているプログラムを実施している団体
- (2) 森林林業等について、適切に説明ができる森林インストラクター等の資格を有する団体
- (3) 国有林野事業を熟知し、国と連絡・調整を行うことができる団体
- (4) その他森林管理局長が定める条件に合致した団体

#### 3 実施内容

- (1) 植林、育林等の体験
- (2) 森林教室、林業・製材工場の見学等の学習活動

#### 4 参加費の設定

参加費は、団体において、インストラクター等の直接人件費及び旅費、保険料、通行料、施設入場料、資機材等の提供に要する経費、消費税相当額により算出した実費として、実施団体において決定・徴収していただきます。

#### 5 留意事項

国有林からは、フィールドの提供、森林ふれあい館、日影沢キャンプ場、自然学習体験施設（炭焼小屋）、展示室及び木工体験室等の施設を優先的に使用できるほか、必要により資機材の貸出や技術的支援等を受けることができます。

#### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年中はフォレスト通信をご愛読頂きありがとうございました。今年も皆様に愛される紙面づくりに努力いたします。（磯）

## 平成29年度 フォレストサポートスタッフの募集予告

林野庁関東森林管理局では、平成26年度から毎年度、高尾森林ふれあい推進センターが実施する森林教室や体験林業等のイベント実施に当たり、イベントをサポートしていただける森林ボランティア「フォレストサポートスタッフ」を委嘱しています。

平成29年度は、①継続して活動いただける再委嘱者の確認と②新規に委嘱を受けて活動いただける新規委嘱者を募集いたします。募集期間は、平成29年1月下旬以降から平成29年2月中旬頃の予定です。委嘱期間は原則として平成29年4月から平成30年3月までの1カ年です。



### 資格要件（以下のいずれかを満たすこと。）

指導力及び行動力に富み、本制度の趣旨を理解し、自主的に協力する意志がある者で、次のいずれかに該当する者のうちから、高尾森林ふれあい推進センターの活動区域内で活躍いただける者を選考し、委嘱します。

- ① 地方公共団体、森林組合、山岳関係団体、ボランティア団体、自然保護関係団体等の関係機関から推薦を受けた者（団体推薦）
- ② 学校教育法に規定する高等学校、大学（大学院、短期大学を含む。）、高等専門学校及び専修学校の学校長又は教授等から推薦を受けた者（学校推薦）
- ③ 高尾森林ふれあい推進センター所長がフォレストサポートスタッフとして資質を備えていると認められる者（自己推薦）

### 募集予告に関するお問い合わせ先

関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター  
TEL 042-663-6689  
FAX 042-663-7229

### Forest 通信 No.335

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>